

とうきょうすくわくプログラム活動報告書 年少クラス

テーマ『流れる水への興味から』

《テーマ設定理由》

日常のあそびの中で、水がU字溝や斜面を流れていく工程に興味を持ち、飽きずに見入る姿から、存分に流すことを楽しめる物を通して自分たちで流れる水を作る、面白さを感じてほしい。

《環境設定・準備したもの》

- ・ペットボトルを数個用意し、子どもたちが水を流せる位の口部分を作り、結束バンドで連結させて長いトンネルのようなものを作成。テラスの柵にぶら下げて自由に流せるようにセット。
- ・水を入れて運ぶカップ、入れ物、バケツ等

《活動スケジュール》

① 8月29日	ペットボトル装置を使って
② 9月1日	掬う、入れる、流す
③ 9月3日	タンクを使って色水ジュース屋さん

《活動内容・子どもの様子》

活動①:テラスでの水あそびの中で、装置に気付いた子どもたちから自由に試せるようにペットボトルのサイズ、角度や長さを変えたものを数か所に設置。自分で運んできた水を入り口から入れてみるとチヨロチヨロ、トプトプ…と流れていく水の様子に魅せられて何度も流していた。水がなくなるとまた汲みに行き…黙々と夢中になる姿が見られた。

活動②:水を流すための入れ物の透明カップに水を掬い水あそび用のキラキラした魚を入れてみると…(「あれ?」)キラキラ光り揺らめく魚。もう一度試してみる。(「あれ?」)水の中で魚が大きくなったり、小さくなったりする不思議さを一頻り確かめていた。

活動③:色水あそびからジュース屋さんとして子どもたちが好きに注げるように大きなタンクに色水を準備。早速、蛇口をひねってみると「うわっ!!」思っていたよりも水の勢いがあったことに驚きと面白さを感じた様子。思わず戻した蛇口に安堵しながらまたひねる。「うわあ!!」なかなか適量を注げないことがそれがまた面白かった様子で何度も試してみる姿が見られた。



《振り返り・気付き》

流れる水の様子に興味を持った姿から、身近なものを使って水を流せる道具を用意してみた。静かにチヨロチヨロ流れる様子が面白いと感じたり、トポトポトポ…と勢いをつけて流れる様子に気付き、沢山の水を友だちと力を合わせて運んではどんどん流してみる姿も見られた。流れる水の様子や自分たちで流す面白さに気付くと、園庭でも斜面を見つけて試していた。楽しい事は、皆、何度も繰り返し試していたが、その度に見つける小さな発見はそれぞれ。タンクでのあそびから、水を入れる→水の勢い、水圧を感じるという水の力を感じる経験にも繋がっていた。

私たち保育者の大切な役割は、子どもたちの小さな気づきの感動に「本当だね」と共感し、その探求心が守られる環境を整えること。そのことを保育者同士も共有したいと感じた。